

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
芸術(音楽)	音楽史	3	3 年 普通科

科目 概要 と 目標	我が国及び諸外国の音楽の歴史について理解を深め、多様な音楽の文化的価値を捉える能力を養う。		
教科書・副教材		Joy of Music（教育芸術社）	
評価 の 観 点	音楽への関心・意欲・態度	音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組もうとする。	
	音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	
	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	
	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、価値判断し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	
評価の方法	授業の活動の様子、定期試験や提出物を勘案して総合的に評価する。		

学習計画および評価方法 等（科の特性に応じて書式や項目を改変してください）

評価の観点：a（関心・意欲・態度）b（思考・判断・表現）c（技能）d（知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4 月	①古代・中世 ルネサンス バロック	・ 古代・中世の音楽の特徴 ・ グレゴリオ聖歌 ・ 単旋律音楽と多声音楽 ・ ルネサンス音楽の特徴 ・ 教会音楽 ・ バロック音楽 ・ 器楽作品	○	○	○	○
5 月						
6 月						
7 月	②古典派	・ 古典派音楽の特徴 ・ ピアノソナタ ・ 弦楽四重奏曲 ・ 交響曲 ・ 協奏曲 ・ オペラ	○	○	○	○

8月	③ロマン派	・ロマン派音楽の特徴 ・歌曲 ・ピアノ作品 ・管弦楽作品 ・協奏曲 ・オペラ	○	○	○	○
9月						
10月						
11月	④近・現代の音楽	・近現代音楽の特徴 ・ピアノ作品 ・バレエ音楽 ・交響曲 ・管弦楽作品 ・吹奏楽作品	○	○	○	○
12月						
1月	⑤ポピュラー音楽・民族音楽・日本音楽	・ミュージカル音楽 ・ジャズ ・アフリカの音楽 ・アジアの音楽 ・北欧地域の音楽 ・歌舞伎	○	○	○	○
2月						
3月						
		・各時代の歴史的背景及び音楽的特徴について、代表的な作曲家の名作を基に学習していく。 ・音楽を形づくる要素を知覚・感受し、自分なりの言葉でよさを表現する。				

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
芸術(音楽)	ソルフェージュ	4	3 年 普通科

科目概要と目標	音楽を形づくっている要素を正しくとらえ、音楽性豊かな表現するための基礎的な能力を養う。		
教科書・副教材		The Basics of Music（教育芸術社）	
評価の観点	音楽への関心・意欲・態度	音楽文化を尊重し、主体的、創造的に音楽の学習に取り組むものとする。	
	音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	
	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表している。	
		音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、価値判断し、音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わっている。	
評価の方法	授業の活動の様子、実技試験や筆記試験等を勘案して総合的に評価する。		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（関心・意欲・態度）b（思考・判断・表現）c（技能）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4 月	授業 オリエンテーション	・ 授業内容の理解 ・ 発声 ・ 合唱曲	○	○	○	○
5 月	楽典 I	・ 楽典の基礎 I 音名、音符、休符、リズム	○	○	○	○
6 月	ピアノ演習 I	・ バーナムピアノテクニック I ・ 練習曲集「バイエル」 ・ 自由曲（発表会）	○	○	○	○
7 月	視奏視唱	・ コールユーブンゲン ・ コンコーネ	○	○	○	○

8 月	聴音	・単音の簡単なもので、音程感覚を捉える	○	○	○	○
9 月	楽典Ⅱ	・楽典の基礎Ⅱ 音程、音階、調、 コードネーム	○	○	○	○
10 月	ピアノ演習Ⅱ	・バーナムピアノテクニックⅡ ・練習曲集 「バイエル」 ・自由曲（発表会）	○	○	○	○
11 月	視奏視唱	・コールユーブンゲン ・コンコーネ	○	○	○	○
12 月	聴音	・単音の簡単なもの ・一部和音を用いた もの	○	○	○	○
1 月	歌唱	・合唱曲（アンサンブル）	○	○	○	○
2 月						
3 月						

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
音楽	音楽 I	2	1 年 普通科 水産科

科目 概要 と 目標	音楽の幅広い活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、創造的な表現と鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。		
教科書・副教材		MOUSA 1（教育芸術社）	
評価 の 観 点	音楽への関心・ 意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	
	音楽表現の創意 工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	
	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表す。	
	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	
評価 の 方 法	授業内の活動の取り組みの様子、実技発表会、実技試験、筆記試験を勘案し、総合的に判断する。		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（音楽への関心・意欲・態度）b（音楽表現の創意工夫）
c（音楽表現の技能）d（鑑賞の能力）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4 月	のびのびと歌おう ・オリエンテーション ・校歌 ・ポピュラーソング	・音楽の学習内容について理解する。 ・姿勢や発声法に気をつけて歌うことができる。 ・曲に応じた発声を考えながら、いきいきと歌唱表現することができる。	○	○	○	
5 月	リズムと楽器の音色を楽しもう ・「ボレロ」 ・リズム、旋律、楽器、音色	・オーケストラに使用される楽器について理解する。 ・リズムの特徴を知覚し、オーケストラの持つ音色のよさを感じ取ることができる。	○			○

6月	ハンドベルを演奏しよう	・楽器の扱い方を理解する。 ・美しい音色が出せるように工夫して、アンサンブルを行う。	○	○	○	
7月	舞台芸術を楽しもう I (ミュージカル) ミュージカルの基礎知識、歌、発声法、ダンス、演技	・ミュージカルの成り立ちや特徴について理解する。 ・物語の背景や、登場人物の心情を音楽との関わりを感じ取ることができる。	○			○
8月 9月	ギターを演奏しよう 基礎知識、奏法	・ギターの種類や各部名称について理解する。 ・正しい奏法で演奏することができる。	○	○	○	
10月	イタリア歌曲を歌おう イタリア語の発音、発声法	・イタリア歌曲の特徴を理解する。 ・伴奏のリズムを聴き取り、そのよさを感じ取ることができる。 ・発声を考えながら、楽曲に合った発声法で表現することができる。	○	○	○	
11月	日本の伝統和楽器 和太鼓に親しもう	・和太鼓の基礎知識理解 ・創作アンサンブル ・和太鼓の音色のよさを生かしてリズム・強弱を工夫する。	○	○	○	○
12月	舞台芸術を楽しもう II (オペラ)	・オペラの成り立ちや特徴について理解する。 ・物語の背景や、登場人物の心情を音楽との関わりを感じ取ることができる。	○			○
1月	歌に心を込めて	・曲に応じ発声方法を工夫し、歌詞などを考え深めながら表現することができる。	○	○	○	
2月	作曲家の生涯と作品を辿ろう	・作曲家の生きた時代の音楽の特徴を理解する。 ・作品を味わう。	○			○
3月	メロディ創作に挑戦	・音階を選んでメロディを創る。 ・創りたいイメージを膨らませる。	○	○		

平成 31 年度栃木県立馬頭高等学校シラバス

教科名	科目名	単位数	学年・学科・授業クラス
音楽	音楽Ⅱ	2	2 年 普通科

科目 概要 と 目標	音楽の諸活動を通して、生涯にわたり音楽を愛好する心情を育てるとともに、感性を高め、個性豊かな能力と主体的な鑑賞の能力を伸ばし、音楽文化についての理解を深める。		
教科書・副教材		MOUSA 2（教育芸術社）	
評価 の 観 点	音楽への関心・意欲・態度	音楽活動の喜びを味わい、音楽や音楽文化に関心をもち、主体的に音楽表現や鑑賞の学習に取り組もうとする。	
	音楽表現の創意工夫	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら音楽表現を工夫し、表現意図をもっている。	
	音楽表現の技能	創意工夫を生かした音楽表現をするための技能を身に付け、創造的に表す。	
	鑑賞の能力	音楽を形づくっている要素を知覚し、それらの働きを感受しながら、解釈したり価値を考えたりして音楽に対する理解を深め、よさや美しさを創造的に味わって聴いている。	
評価 の 方法	授業内の活動の取り組みの様子、実技発表会、実技試験、筆記試験を勘案し、総合的に判断する。		

学習計画および評価方法 等

評価の観点：a（関心・意欲・態度）b（思考・判断・表現）c（技能）d（知識・理解）

月	学習内容	学習のねらい・活動	評価の観点			
			a	b	c	d
4 月	正しい発声法を身につけよう ポピュラーソング等	・楽曲に合った発声法を考え、表現することができる。	○	○	○	
5 月	舞台芸術を楽しもうⅠ（ミュージカル）	・文化的・歴史的背景について理解を深める。 ・その中の曲について特徴を捉えながら表現を工夫する。	○	○		○
6 月	ボディパーカッションに挑戦	・リズムを正確に読み、演奏する。 ・身体を効果的に使い、音色や奏法を工夫する。。	○	○	○	

7月	世界のポピュラー音楽や、諸民族の音楽に親しもう	・それぞれの音楽の特徴を捉え、その特徴を感じ取ることができる。	○			○
8月 9月	ギターの弾き歌いに挑戦しよう	・必要なコードを習得して演奏できる。 ・コードネームを理解できる。 ・音色や奏法の特徴を理解し、表現を工夫する。	○	○	○	
10月	作曲者の思いやイメージを感じ取ろう	・作曲家の生涯や時代背景について学習する。 ・代表的な作品を取り上げ、音楽が形づくっている要素に着目して特徴を聴きとる。	○			○
11月	作曲に挑戦しよう	・メロディ創作 ・作りたい曲の雰囲気を考え、リズムを工夫して表現する。	○	○	○	
	日本や世界の歌曲に親しもう	・言葉の特徴を捉え、歴史的背景を理解しながら、楽曲にふさわしい表現を工夫することができる。	○	○	○	
12月	キーボードに挑戦しよう	・拍子やリズム、指づかいに注意して演奏することができる。	○	○	○	
1月 2月	舞台芸術を楽しもうⅡ(バレエ)	・バレエの特徴や成り立ちを理解できたか。 ・作品を深く味わうことができたか。	○			○
3月	合唱を楽しもう(ボーカルアンサンブル)	・各パートの役割を意識しながら表現を工夫する。	○	○	○	